川場村議会広報
通巻第82号

# 田園理想郷時代

No.27
2026.2.1

萩室地区で養鱒業を営む見城光男さんが、令和7年度の群馬県功労賞を受賞した。昨年10月28日に、山本一太知事から表彰状を授与された。

第5回議会12月定例会 ―― 2
一般質問 ―― 3
注目の補正予算 ―― 4
川場村議会全員協議会 ―― 5
常任委員会活動 ―― 6
議員研修・議会傍聴案内・議会の動き ―― 7
ぼいす・編集後記 ―― 8

## 第5回議会 12月定例会

令和7年12月4日(木)～12月9日(火)

令和7年12月定例会は6日間の日程で開催され、条例の制定1件、一部改正1件、補正予算1件、その他4件、専決1件が審議されました。

※議長は議事進行を行うため、賛否を表明しません。

| 議案 | 結果 | 桒原 達也 | 千木良澄夫 | 角田 文雄 | 津久井俊雄 | 宮内 好美 | 丸山 敏雄 | 細谷 市衛 | 黒田まり子 | 小菅 秋雄 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **条例** | | | | | | | | | | |
| 川場村災害弔慰金の支給等に関する条例について<br>群馬県市町村総合事務組合の事務に係る共同処理の取り止めに伴い、条例を制定する。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 川場村福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について<br>医療機関窓口での受給資格の確認方法について、マイナンバーカードを用いて情報を医療機関に提供する方法が追加となったため、条例の一部を改正する。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| **補正予算** | | | | | | | | | | |
| 令和7年度川場村一般会計補正予算(第4号)について<br>歳入歳出それぞれ1億7千1百69万3千円を追加し、総額を31億9千2百39万2千円とする。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| **その他** | | | | | | | | | | |
| 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について<br>群馬県市町村総合事務組合の組織団体の名称が変更されるため、群馬県市町村総合事務組合が災害弔慰金支給事務を取り止めるため議決を求める。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取り止めに伴う財産処分に関する協議について<br>群馬県市町村総合事務組合が災害弔慰金支給事務を取り止めるため議決を求める。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について<br>共同設置する団体の名称の変更及び新規に加入団体が存在するため議決を求める。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 利根沼田地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について<br>協定内容に追加事項が発生したため議決を求める。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| **専決処分** | | | | | | | | | | |
| 専決処分の承認について(令和7年度川場村一般会計補正予算(第3号))<br>令和7年9月10日の豪雨、落雷、暴風による被害を受け、災害復旧にかかる予算補正の必要が生じたため一般会計補正予算を専決処分する。 | 賛成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |



## 村政を問う! 一般質問 農業の今後、熊対策と自然資源の整備は?

### 新たな農業への取り組みについて

千木良澄夫 議員

●千木良●近年、持続可能で次世代につなぐ農業の仕組みを構築することが求められています。

①循環型農業や有機農業への取組状況。②新規就農者の確保や育成のための施策。③新たな農業への取組の現状と今後の対応。以上3点について伺います。

■村長■循環型農業や有機農業の取組については、現在、村内農家で化学肥料や農薬の使用低減などに取り組む有機JAS認定者が2名、エコファーマー認定者が4名います。認定を受けることで、設備投資の際の税制優遇措置や様々な国県補助金の採択で優遇されるなどのメリットがあります。

認定取得を推進するとともに、環境負荷の軽減を図り、自然の物質循環機能を活用し、地域経済の活性化につなげていきます。

人手不足解消にスマート農業が注目されています。ロボットやAIなどの先端技術を活用する新しい農業の形であり、本村でも普及しつつあります。

●千木良●スマート農業普及にどのようなことを考えていますか。

■村長■農家の希望があれば、情報を取り入れるなど、取り組んでまいります。

雪ほたかブランドは受賞歴も多く、村の農業を牽引している。

### 熊被害対策と森林・里山整備について

黒田まり子 議員

●黒田●まず、熊の出没と被害、情報提供体制、猟友会との連携と人材、観光地のリスクと来訪者向けの安全対策について。次に、森林・里山の整備状況、管理計画の進捗、放置林や耕作放棄地の対応、森林環境譲与税の活用状況と森林整備について伺います。

■村長■熊に関しては国・県と連携し、予防、対応、啓発を強化します。猟友会と熊の捕獲を強化し、緩衝帯整備などを推進します。熊関連の報告はなく、公表もしていません。人身被害はなしです。情報共有は防災無線、メール、村公式LINE、学校の連絡網アプリです。観光地向け対策は警備員増員、来村者向けでは世田谷健康村両ビレジで夜間に入り口自動ドアを手動化。

森林・里山は境界部に緩衝帯を設けました。今年度は緑の県民基金森林整備、竹林整備を実施予定。後山、友好の森を実施予定です。放置林や耕作放棄地が熊の誘因となる問題は、効率的で持続可能な保全活動を進めます。令和7年度の森林環境譲与税は地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業及び林道太郎線改良事業に充当しました。熊被害対策の森林整備重点的投資は緩衝帯整備を予算措置予定です。

民家近くの柿の木にのぼって動き回る。人を恐れない。



## 注目の補正予算 令和7年度12月の補正予算はここに注目!

### ほたかの里基金積立金 8千万円

ふるさと寄附金の増加が予想されるため8,000万円追加し、ほたかの里基金に積み立てます。当初予算では、1億2,000万円予定していましたが、ヨーグルトや雪ほたかなどの人気が高く、ふるさと寄附金が増加したためです。

### 防犯灯及び防犯カメラ設置工事 70万2千円

地区からの要望により、萩室地区、立岩地区及び天神地区に各1基づつ防犯灯を設置します。また、犯罪やトラブルの抑止力、発生時の証拠記録の観点から、谷地地区の県道富士山横塚線上界戸バス停付近に防犯カメラを1基設置します。これで村内には合計10基目の防犯カメラが設置されますが、住民や観光客に安心安全な環境を提供できます。

### 小規模農村整備事業 工事請負費 580万円

上田沢上段地区の流末処理のため、下流域の上田沢地区への排水施設設置のための工事を行います。流末処理が未整備のため、近年の集中豪雨の発生のたびに山林崩壊が発生し、下流域に土砂が流入し水田耕作の支障となっていました。

### 群馬県環境負荷低減・資源環境型農業推進モデル事業補助金 211万3千円

水田の除草作業機械の導入補助金で、環境にやさしい農業に取り組む水田農業者でエコファーマーまたはJAS認定を受けている方が対象です。事業費の50%が県より補助されます。

### 川場村武道館LED照明リース代 42万9千円

現在の武道館の照明器具は蛍光灯のため、消費電力が多くなっています。新年度に冷房設備の設置予定ですので、消費電力を下げるために先行投資を行います。

## 川場村議会全員協議会 「熊対策及び川場村緊急柿の木等伐採事業補助金」など5件を協議

―令和7年12月2日午前10時～

### 1、令和7年度川場村一般会計(第3号)の専決処分について

令和7年9月10日の豪雨、落雷暴風による被害の災害復旧のために必要となる1千386万9千円の増額補正した先決処分について説明がありました。

〔内容〕
●旧中学校
折れた電柱の撤去改修、校舎の雨漏り修繕、電気設備修繕。
●農地の災害復旧工事・林道修繕・道路維持費・その他。

### 2、川場村災害弔慰金の支給に関する条例について

群馬県市町村総合整備総合事務組合の弔慰金の支給に関する事務の共同処理が令和8年3月31日までとなるため国の災害弔慰金の支給に関する法律の規定に基づき、市町村で災害弔慰金の支給事務を行うための条例制定についての説明がありました。

### 3、庁舎屋外階段改修工事について(予算額1千60万円)

庁舎屋外階段に屋根、防雪防腐剤防鳥ネット、暴風パネルを設置についての説明があり、景観にも配慮した改修工事を行います。

施工期間は令和7年12月から令和8年1月末の予定。

(2026年1月9日撮影)

### 4、熊対策及び川場村緊急柿の木等伐採事業補助金について

(一般会計補正予算に事業費100万円を計上)

利根沼田地域で熊の出没が多発しており、村内でも多くの出没が確認された。熊が柿の木に登っているという目撃情報が多く、不要な柿や栗などの木の伐採に補助事業を導入することについての説明がありました。

●村民が自宅周辺の柿や栗の木の伐採を業者に依頼した場合、5万円を上限に半額を補助する。
●幹の直径が20センチ以上の木が対象。

### 5、川場村議会の運営基準について

川場村議会は川場村議会会議規則や委員会条例等に基づき運営されているが、それを補うために議会運営の基準が作成されました。



## 委員会の活動 総務文教常任委員会 12月24日

### 調査 村内のごみステーションを確認

令和7年4月よりプラマークごみの分別が始まりました。以前は可燃ごみとして処理されていたプラごみですが、リサイクル資源として分別し、排出するようになって9ヵ月が経ちました。

分別開始直後は収拾用の黒ネットが不足することもあり、外にあふれている様子も見られましたが、ネットを増やすなどの住民課の対策により現在は改善されています。

川場村全域で57カ所あるごみステーションですが、12月24日に総務文教常任委員会でごみステーションの排出状況を確認してまわったところ、ルールに従ってよく洗われ、分別されて排出されている様子が確認できました。

これからも利用者全員がより快適に利用できるよう、ご配慮をお願いします。

## 委員会の活動 産業振興常任委員会 11月10日～11日

### 視察 スマート農業を推進する長野県伊那市の農政に学ぶ

産業振興常任委員会行政視察を令和7年11月10日～11日に長野県伊那市にスマート農業の推進についての視察研修を実施しました。

伊那市も全国の自治体と同じく農業後継者の減少が叫ばれるなか、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用しスマート農業の推進にどこよりも力を入れているところを実感しました。

川場村も耕作放棄地や農業後継者問題、また、農作物、伊那市の取り組みを学んでいかなければと改めて思いました。

無人トラクターのイメージ写真

## 群馬県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会に参加

11月5日(水)、玉村町文化センター大ホールにおいて群馬県議会議長会主催の町村議会議員研修会が開催され、川場村議会議員7名が参加しました。

一部では、明治大学の湯浅墾道教授による「地方議会のデジタル化の意義と課題」の講演が行われました。デジタル化は単なる便利さだけではなく、議会をより身近に感じていただくための重要な取り組みであり、住民との関係の再構築を図ることが大切であるとのことでした。

二部では、政治ジャーナリストの細川隆三氏による「時局展望」のご講演が行われました。政治の動向及び情勢や、防衛費や社会保障費などの課題についての最新情報を聞くことができました。

本研修で得た学びを今後の議会活動に生かし、安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。

### 議会を傍聴してみませんか

むずかしい手続きなどは不要です。
★川場村のホームページに一般質問の内容を載せています。
次回定例会は3月上旬です
問い合わせ/川場村役場 議会事務局 52-2111

### 議会の動き

議会や議員は日ごろこんな活動をしています。

**11月**
- 1日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
- 3日 川場村文化祭
- 5日 町村議会議員研修会
- 10日～11日 産業振興常任委員会行政視察研修
- 12日～13日 町村議会議長全国大会
- 17日 慶祝訪問
  - 田園プラザ取締役会
  - 利根郡町村議会議長会定例会
  - 利根沼田学校組合議員協議会
  - 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
- 18日 第1回川場村こども議会
- 19日 議会運営委員会
- 21日 川場スキー場安全祈願祭
- 25日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
  - 利根沼田学校組合議員協議会
  - 沼田市外二箇村清掃施設組合議会定例会

**12月**
- 2日 議会全員協議会
- 4日 第5回議会定例会(初日)
- 9日 第5回議会定例会(最終日)
  - 議会広報特別委員会
  - 自治功労者選考委員会
- 11日 川場村社会福祉協議会理事会
- 16日 議会広報特別委員会
- 24日 総務文教常任委員会行政視察

**1月**
- 6日 群馬県議会新春交流会
  - 上毛新聞社 新年の集い
- 9日 議会広報特別委員会
- 10日 川場村消防団出初め式
  - 川場村新年祝賀式
- 11日 川場村二十歳を祝う会
- 12日 川場村剣道大会及び鏡開き
  - どんど焼き
- 14日 議会運営委員会
- 15日 議会広報特別委員会
- 16日 川場学園立志式
- 19日 利根郡町村議会議長会定例会
  - 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
- 21日 第1回議会臨時会
- 22日 廃棄物減量等推進審議会
- 23日 群馬県町村議会議長会定期総会
  - FM OZE 賀詞交換会
- 24日 太子講



## ぼいす 27

### 農畜水産物の消費拡大や観光振興に寄与

元県養鱒漁業協同組合副組合長 見城光男さん(72)

ときにはスタッフと一緒に作業をすることも。

自らデザインした碑の前に立つ。

川場フィッシングプラザを展開する見城さんは、子供の頃から魚や釣りが好きだった。それが長じて、県の水産行政や試験研究にも協力するようになり、ついには県の功労者にまで到達した。

☆まずは受賞おめでとうございます。17の分野で34人の方が表彰されて、見城さんは農業分野。今回で3度目ですね。

★はい、平成29年10月、令和3年5月、そして今回です。

☆利根沼田では見城さんお一人だけ。その点でも重さを感じますね。ところで仕事の内容は?

★マスやイワナ、ヤマメ、ハコスチ、イトウなど10種類ほどの養殖が中心です。作業としては、今の時期だと卵の孵化です。

☆今回の授賞理由に、コロナ禍でダメージを受けた農畜水産物の消費拡大や観光振興に寄与したことのほか、ハコスチの認知度向上に貢献したことも評価されていましたね。ハコスチとは?

★群馬県が日本で初めて開発した釣り専用のニジマスです。釣り人には、引きが強いなどの特徴が人気です。比較的新しいブランドなのでもっと知名度をあげたいところです。同じく群馬県が開発したギンヒカリ同様、市場も消費も拡大してほしいと思います。

☆この仕事に入った理由はどんなことですか。

★まず、若い頃から魚が好きだったことが第一点です。そして、釣りが趣味だったことがきっかけです。川場を選んだのは水がきれいなことと、自然に恵まれていたことです。

☆いつから始められたのですか。

★始めたのは25歳のときでした。今年で47年になります。

☆専門的な知識や経験はどうやって修得なさったのですか。

★県の水産試験場で、冬場だけですが何年か卵搾りなどの現場を経験して学びました。専門学校などは出ていません。

☆養魚場や魚の取り扱い量などの規模はどんな状況ですか。

★養魚場は川場フィッシングプラザも含めて4か所で、それらを連携させて一つのサイクルを完成させます。13人のスタッフで約50トンの魚を動かしています。

☆大変だったことは?

★魚が病気などで大量被害に遭ったときなんかはガックリきましたよ。落葉の流入は大きな障害です。水をきれいに保つことが一番気を遣うことです。

☆熊などの獣害はありますか。

★あります。熊は難敵です。頻出する池もあるので、そこでは電気柵をめぐらせています。

☆川場に対しての思いは。

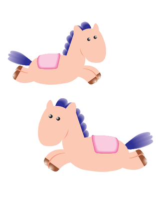
★農業と観光の両面で伸びているので、この勢いを加速させてほしいですね。田園プラザもそうですが、ほかの分野とも連携しあって相乗効果を出せればいいのではないでしょうか。

### 編集後記

昨年を振り返って見ますと物価高に夏の猛暑、今までに例を見ない熊の出没、大変な一年になりました。

今年は村民皆様が一年間何事にもウマく行くように願っています。

(丸山敏雄)



議会広報特別委員
委員長 千木良澄夫
副委員長 黒田まり子
委員 丸山 敏雄
委員 小菅 秋雄

川場村議会広報
田園理想郷時代 第27号
令和8年2月1日発行
★ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/川場村議会
〒378-0101
群馬県利根郡川場村大字谷地3200
TEL. 0278-52-2111(代)
FAX. 0278-52-2333
制作/新木デザイン事務所